

## 参考資料

# I 地域コミュニティが抱える課題（課題整理のための一覧表）

<分類の種類>

- ◆共通（全市共通）、◆鶴岡共通（鶴岡地域共通）、◆鶴岡市街地（鶴岡地域市街地）、◆鶴岡郊外地（鶴岡地域郊外地）、◆藤島地域、◆羽黒地域、◆榎引地域、◆朝日地域、◆温海地域 ※再掲項目には(再)を記載

## (1) 自治組織が抱える組織上・運営上の課題

### ①単位自治組織

#### <組織上の課題>

現状、問題意識	課題項目	具体的取組のアイデア（具体的取組を設定するうえで地域資源を活用できるものがあれば記載）※【】は取組主体
<p><b>【市民の意識】</b></p> <p>◆共通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニティ意識の希薄化</li> <li>○単位自治組織活動に協力が少なく他人任せになってきている</li> <li>○近隣関係の希薄化</li> <li>○世代間におけるコミュニティ意識のズレがある</li> <li>○職業の多様化による結束力の弱体化</li> </ul>	<p>◆共通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A 地域コミュニティや単位自治組織の意義や活動に対する理解促進</li> <li>B 近隣関係の再構築</li> <li>C 世代間交流の推進</li> </ul> <p>◆鶴岡共通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>D 単位自治組織が抱える問題・課題の再認識と共有</li> </ul>	<p>◆共通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A D 単位自治組織の存在意義を確認し問題・課題を共有するワーキングや講演会等の開催【単位自治組織、市】</li> <li>A 総会資料等の作り方に工夫をこらし活動方針や活動自体の見える化【単位自治組織】</li> <li>A D コミュニティ広報紙（コミュニティだより）の充実による情報発信力の強化【単位自治組織】</li> <li>A 地域の子どもの郷土愛を育む地域教育活動の実践【単位自治組織、市】</li> <li>B 笑顔で挨拶を交わす取組の実践【単位自治組織】</li> <li>B 近隣が気軽に話し合える雰囲気や場づくり（隣組座談会など）【単位自治組織】</li> <li>C 各世代が単位自治組織活動に参加しやすい雰囲気や場づくり【単位自治組織】</li> </ul> <p>◆榎引地域、朝日地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>C 一体感を醸成するための世代間交流事業の実践【単位自治組織】</li> </ul>
<p><b>【会員】</b></p> <p>◆共通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○会員の高齢化と減少</li> <li>○単位自治組織への未加入者がいる</li> <li>○会員の情報が把握できない（世帯カード等を作成する際に情報が得にくい）</li> </ul> <p>◆鶴岡市街地</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○アパート入居者で単位自治組織に入らない世帯がある</li> </ul> <p>◆榎引地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○会員の脱退</li> </ul>	<p>◆共通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A 単位自治組織の意義や活動に対する理解促進（再）</li> <li>B 在住者や転入者への加入の呼びかけ</li> <li>C 緊急時や災害時に備えた個人情報提供に係る理解促進と情報収集</li> <li>D 民生児童委員等との連携による情報伝達・収集力の向上</li> <li>E 移住・定住促進</li> </ul>	<p>◆共通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A 単位自治組織の存在意義を確認し問題・課題を共有するワーキングや講演会等の開催【単位自治組織、市】（再）</li> <li>A B 転入者及び転居者に対し、市民課等窓口において住民票異動手続きの際に、町内会加入呼びかけチラシを配付（継続）【市】</li> <li>B あきらめず誘い続ける声かけの実践【単位自治組織】（再）</li> <li>C 緊急時や災害時に備えた住民情報収集の必要性、取扱い方法、活用方法及び活用成果についての説明・情報公開、その情報収集【単位自治組織、市】（再）</li> <li>C アンケートを活用してのコミュニティ活動に必要な住民情報や住民ニーズの収集・把握【単位自治組織、市】（再）</li> <li>D 単位自治組織、広域コミュニティ組織、民生児童委員、社会福祉協議会の連携による情報収集活動の検討【単位自治組織、広域コ】（再）※広域コは組織がある地域のみ</li> <li>E 空き家利用によるUターン・Iターン等移住希望者の定住促進【市、単位自治組織】（再）</li> </ul> <p>◆鶴岡市街地</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A B 市、自治組織、関係団体との連携によるアパート家主及び入居者等への町内会加入啓蒙の推進【市・単位自治組織】</li> <li>C D 市と単位自治組織と関係団体が協力・連携したアパート入居者に係る情報収集活動の実践【市、単位自治組織】</li> </ul>
<p><b>【役員】</b></p> <p>◆共通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○役員の担い手不足と高齢化・固定化</li> <li>○役員の本来業務が多いうえ、あて職も多く、役員の負担が大きい</li> </ul>	<p>◆共通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A 組織の機能や役割等の見直し（役員の役割分担、選出方法、負担軽減策等含む）</li> <li>B 担い手となる人材の確保・育成</li> </ul>	<p>◆共通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A 役員の任期・交代・選定方法（公募含む）のあり方検討会の開催【単位自治組織】</li> <li>A 役員の負担軽減に繋がる効果的な分担制の検討【単</li> </ul>

	<p>◆鶴岡市街地 C学区団体組織等の統合・再編に係る情報交換</p>	<p>位自治組織】 A広域コミュニティ組織が先導して「地域課題総合調整会議」を開催し、課題解決のための優先順位付け、役割分担等を決める【単位自治組織、広域コ、市】 ※広域コ組織がある地域のみ B次世代のリーダー育成を目的とした研修や情報交換会の開催【単位自治組織、市】 B女性の力の活用、女性の活躍の場の拡大（女性を役員に登用）【単位自治組織】 B若者の活躍の場の拡大【単位自治組織】</p> <p>◆鶴岡共通 B町内会役員とPTA・婦人会・体育協会等との交流促進【単位自治組織】</p> <p>◆鶴岡市街地 C各種団体・組織の統合・再編に係る情報交換会の開催【単位自治組織、広域コ、市】</p>
<p>【会費・資金】 ◆共通 ○会員減少や増加する高齢者世帯の減免等に伴う会費収入減によって単位自治組織の財政運営が難しい ○市街地にくらべて会費等の住民負担が重い（住民会費、互助会費、振興会費、公民館費、神社、寺等）※市街地以外共通</p> <p>◆鶴岡市街地 ○会計支出全体にしめる他団体への負担金の割合が多く、単位自治組織財政運営の負担が大きい ○会費未納者が多くなってきている</p> <p>◆藤島地域、羽黒地域 ○小規模単位自治組織では会費負担が重くなっている</p>	<p>◆共通 A会費のあり方の検討 B財政運営の見直し Cコミュニティビジネスを含めた活動資金の確保策の検討</p> <p>◆鶴岡市街地 D学区団体組織等の統合・再編に係る情報交換（再）</p>	<p>◆共通 A会費のあり方検討会の開催【単位自治組織】 B会費収入に見合った事業運営に向けた住民合意に基づく活動の優先順位付けや内容の見直し【単位自治組織】 B小規模単位自治組織への支援（継続：鶴岡市住民自治組織総合交付金）【市】 BD各種団体・組織の統合・再編の検討【単位自治組織、広域コ、市】（再）※広域コは組織があるところ B単位自治組織運営に係る研修の実施【単位自治組織、市】 Cコミュニティビジネスの取組に向けた研究活動【単位自治組織】</p>
<p>【組織の規模】 ◆共通 ○人口減少、少子高齢化に伴う世帯数の減少によって、単位自治組織の小規模化の進行が懸念される</p> <p>◆朝日地域 ○子どもが少なく、今後の集落の存続が懸念される</p> <p>◆温海地域 ○極めて小規模な集落がいくつかあり、今後の集落の存続が懸念される ○地理的に離れており、集落組織の統合は難しい</p>	<p>◆共通 A将来を見据えた単位自治組織の再編に係る情報交換 B周辺単位自治組織との連携 C広域コミュニティ組織による機能補完※広域コ組織がある地域のみ</p>	<p>◆共通 A単位自治組織の再編・統合への実務的支援と財政支援（継続：統合町内会への鶴岡市住民自治組織総合交付金の経過措置）【市】 AB隣接する単位自治組織との情報交換会の開催【単位自治組織】 C単位自治組織と広域コミュニティ組織の機能・役割分担会議の開催【単位自治組織、広域コ、市】※広域コ組織がある地域のみ</p> <p>◆榊引地域 C広域コミュニティ組織形成に向けた検討【単位自治組織、市】</p>

### <運営上の課題>

現状、問題意識	課題項目	具体的取組のアイデア（具体的取組を設定するうえで地域資源を活用できるものがあれば記載）※【】は取組主体
<p>【組織の役割・機能】 ◆共通 ○人口減少、少子高齢化の中でも、特に防災・福祉がしっかりと機能するための組織づくりが必要</p>	<p>◆共通 A防災・福祉が機能する組織づくり</p>	<p>◆共通 A地域団体組織（広域コミュニティ組織、単位自治組織、学区・地区社協等の団体）による情報交換会の開催、連携組織の立上げ【単位自治組織、広域コ、市】（再）※広域コは組織があるところ A単位自治組織と広域コミュニティ組織との機能・役割分担会議の開催【単位自治組織、広域コ、市】※広域コ組織がある地域のみ</p>
<p>【事業全般/生涯学習】 ◆共通 ○参加者が減少、固定化、高齢化している ○就労形態の多様化によって、事業の日程調整や参加者の確保が難しい ○地域事業の日程が過密になってきている ○事業内容がマンネリ化している ○人口減少、少子高齢化に伴って実施困難な事</p>	<p>◆共通 A事業への参加の呼びかけ B開催日程の見直し、開催形態の工夫 C参加者層を意識した魅力的な事業企画立案と実施 D単位自治組織事業等の喫緊の課題の洗い出し作業、住民ニーズの把握、事業の優先順位付け</p>	<p>◆共通 Aあきらめず誘い続ける声かけの実践【単位自治組織】（再） AC多様な媒体を活用した事業周知、年齢層やライフステージを意識したPR活動【単位自治組織】 A総会資料等の作り方に工夫をこらし活動方針や活動自体の見える化【単位自治組織】（再）</p>

<p>業が発生してきている</p> <p>○学校行事やスポーツ少年団の活動が多く、日程調整が難しい</p> <p>◆<b>鶴岡共通</b></p> <p>○役員の負担が大きく、また、費用の捻出及び参加者確保の面でも生涯学習事業の実施が困難になりつつある、手が回らないという声がある</p> <p>◆<b>藤島地域、羽黒地域、朝日地域</b></p> <p>○生涯学習活動については、地域活動センター等の事業に参加すること自体が、活動となっているところが多い</p> <p>◆<b>朝日地域</b></p> <p>○個々の集落で行ってきた事業が過疎や高齢化の進行で実施困難となることが予想される</p>	<p>E 関係団体との協力・連携体制の構築</p> <p>F 持続可能な事業運営のための人材育成・確保、資金管理</p> <p>G 単位自治組織と広域コミュニティ組織との連携・役割分担※広域コ組織がある地域のみ</p> <p>H 学校事業・スポ少活動との調整</p> <p>◆<b>藤島地域、羽黒地域、朝日地域</b></p> <p>I 生涯学習活動における地域活動センター等との連携・協力</p>	<p>A 市職員への地域コミュニティ活動への積極的な参加呼びかけ【市】</p> <p>B C 会議の開催形態を工夫する【単位自治組織】（「若い世代が会議に参加しやすいように、同日・同時間に子ども行事を実施し、親は会議に参加、子どもは行事で楽しむ」、「親子行事や祖父母孫行事など、多世代が一緒に参加し、関わることのできる事業の開催」等）</p> <p>B C D 従来行われてきた事業内容の再点検・見直し【単位自治組織】</p> <p>C 単位自治組織の中で事業企画を公募する【単位自治組織】</p> <p>C D 住民ニーズの把握（アンケートの活用など）と、ニーズに沿った事業企画【単位自治組織】</p> <p>C D 知見を共有するための単位自治組織活動報告会の開催【市、単位自治組織】</p> <p>D 単位自治組織の存在意義を確認し問題・課題を共有するワーキングや講演会等の開催【単位自治組織、市】（再）</p> <p>E 分野別に強みを持つ関係団体との事業共催【単位自治組織】</p> <p>F 事業を通じて自分が必要とされている喜びや達成感・生きがいを共有できる仕掛けづくり【単位自治組織】</p> <p>F C 人材育成のための研修機会の充実（単位自治組織の若手を対象とした研修会、PTA と連携しての地域人材育成研修会、コミセン職員研修会など）【市】</p> <p>D G 単位自治組織と広域コミュニティ組織との機能・役割分担会議の開催【単位自治組織、広域コ、市】（再）※広域コは組織があるところ</p> <p>A H 学校やスポーツ少年団との相互の連絡を密にし、年間計画により事業を組み立てるなどの工夫【単位自治組織】</p> <p>◆<b>藤島地域、羽黒地域、朝日地域</b></p> <p>I 生涯学習活動において、地域活動センター等と連携しての事業実施【単位自治組織、広域コ】</p> <p>◆<b>朝日地域</b></p> <p>A 事業内容を精査し、近隣の集落と共同して行うなど実施方法を検討する【単位自治組織】</p>
<p>【福祉／防犯・防災】</p> <p>◆<b>共通</b></p> <p>○高齢者や要支援者が増加し、会員の高齢化・減少、若者の減少、さらに平日昼間の人口減少等、地域の防犯・防災体制（消防団等を含む）を弱体化させる要因が増えてきている</p> <p>○高齢化に伴い、見守りや生活支援（除雪、買い物、通院等）を必要とする高齢者世帯や認知症高齢者等の要支援者が増加しており、加えて要支援者の情報（緊急時の連絡者含む）は把握しにくい</p> <p>○高齢者が振り込め詐欺等の犯罪や悪質訪問販売に巻き込まれるケースが増えてきている</p> <p>○空き家が年々増加しており、防犯、防災上の不安を抱えている</p> <p>○自主防災組織はあるものの、十分な機能を果たし得る体制に至っていないところもある</p> <p>○不審者の情報が寄せられる等、子どもたちの安全・安心の確保が強く求められている</p> <p>○地理的状況により、従来のコミュニティ組織の区域を超えた（地区や地域を超えた）避難も想定される</p> <p>◆<b>鶴岡市街地</b></p> <p>○住民の動向をリアルタイムに把握することが難しい</p> <p>◆<b>羽黒地域</b></p> <p>○防犯・防災において、個別受信機が使えなくなり外の防災無線は聞き取れず、今までより情報が得られず心配である</p> <p>◆<b>楡引地域</b></p>	<p>◆<b>共通</b></p> <p>A 要支援者への声掛け・見守り・支援体制の構築</p> <p>B 緊急時や災害時に備えた個人情報の提供に係る理解促進と情報収集(再)</p> <p>C 民生児童委員等との連携による情報伝達・収集力の向上(再)</p> <p>D 振り込め詐欺、悪質訪問販売の対策強化</p> <p>E 空き家の実態把握</p> <p>F 自主防災組織の機能強化</p> <p>G 子どもの見守り体制の構築</p> <p>H 高齢者の生活ニーズ（除雪・買い物・通院等）への対応</p> <p>I 単位自治組織と広域コミュニティ組織との連携・役割分担（再）※広域コ組織がある地域のみ</p> <p>J 避難先の（避難場所の）コミュニティ組織や自主防災組織との連携</p> <p>◆<b>鶴岡市街地</b></p> <p>K 隣組等で把握した住民の動向を単位自治組織の上部に伝える伝達手段の確立</p> <p>◆<b>羽黒地域</b></p> <p>L 防災情報の取得と伝達周知方法の検討</p> <p>◆<b>楡引地域</b></p> <p>M 見守り隊の活動体制の見直し</p> <p>◆<b>温海地域</b></p> <p>N 災害時における集落の孤立対策</p>	<p>◆<b>共通</b></p> <p>A F 災害時要援護者支援計画の策定【単位自治組織】</p> <p>A B 自治組織による要支援者の把握への市の協力（避難行動要支援者個別支援計画等作成支援事業）【市】</p> <p>A 見守り、防災面での女性の力の活用、女性の活躍の場の拡大【単位自治組織】（再）</p> <p>B 緊急時や災害時に備えた住民情報収集の必要性、取扱い方法、活用方法及び活用成果についての説明・情報公開、その情報収集【単位自治組織、市】（再）</p> <p>B アンケートを活用してのコミュニティ活動に必要な住民情報や住民ニーズの収集・把握【単位自治組織】（再）</p> <p>C 単位自治組織、広域コミュニティ組織、民生児童委員、社会福祉協議会の連携による情報収集活動の検討【単位自治組織、広域コ】（再）※広域コは組織があるところ</p> <p>D 県や市の消費生活センターと連携しての研修会の開催や啓発活動の実施【単位自治組織、市】</p> <p>E 空き家の実態を常時把握する体制づくり【単位自治組織】</p> <p>F 自主防災組織の機能点検【単位自治組織】</p> <p>F J 有事を想定した防災訓練の実施【単位自治組織、広域コ、市】※広域コは組織があるところ</p> <p>G 地域住民の防犯意識の啓発活動【単位自治組織】</p> <p>G 学校、保護者、単位自治組織、広域コミュニティ組織、地域団体との連携による「見守り隊」活動の実践【単位自治組織、広域コ、市】</p> <p>H 高齢者の生活ニーズ（支援が必要な人と支援ができる人の情報収集、必要とされる支援内容の洗い出し、高齢者支援のボランティア体制の確立）への対</p>

<p>○見守り隊の参加人数が減ってきており、継続するのが難しくなっている</p> <p>◆<b>温海地域</b></p> <p>○地理的に集落が点在しており、土砂災害により孤立の恐れがあり心配である</p>		<p>応策の検討【単位自治組織、広域コ】※広域コは組織があるところ</p> <p>◆<b>鶴岡共通</b></p> <p>A I 単位自治組織と広域コミュニティ組織との機能・役割分担会議の開催【単位自治組織、広域コ、市】(再)</p> <p>◆<b>鶴岡市街地</b></p> <p>K 住民動向を隣組単位で把握して単位自治組織の上部に伝達する仕組みの構築【単位自治組織】</p> <p>◆<b>鶴岡郊外地、櫛引地域</b></p> <p>F 登録の消防団活動協力員への活動協力・参加について、あきらめず誘い続ける声掛けの実践【単位自治組織】</p> <p>◆<b>藤島地域、温海地域</b></p> <p>B 近隣者による情報の把握【単位自治組織】</p> <p>◆<b>羽黒地域</b></p> <p>L 防災情報を取得する方法の周知や情報提供方法の検討【市】</p> <p>◆<b>櫛引地域、朝日地域</b></p> <p>H 除雪パートナーズ等の既存事業の活用【市】</p> <p>H 移送サービスの検討【市】</p> <p>◆<b>櫛引地域</b></p> <p>F 防災訓練や防災座談会等を開催して防災意識の高揚を図る【市、自主防災組織等】</p> <p>H 買物や通院等を支援する体制構築に向けた検討【市】</p> <p>M 見守り隊の活動体制の見直し【市】</p> <p>◆<b>温海地域</b></p> <p>N 有事の際の情報伝達システムの確立【市、単位自治組織】</p> <p>◆<b>朝日地域</b></p> <p>F 自治会内の消防団OBの調査・把握と協力員への参加促進【消防団】</p> <p>H 除排雪サービス体制の事業化検討【市】</p> <p>H 豪雪対策特別支援事業の拡充【市】</p> <p>H 高齢者いきいきパスの拡充【市】</p> <p>H 買い物代行サービスの事業化【市】</p>
<p>【生活環境整備】</p> <p>◆<b>共通</b></p> <p>○会員の高齢化等により、河川清掃や側溝清掃等の共同作業の継続が難しくなっている</p> <p>◆<b>鶴岡市街地</b></p> <p>○アパート入居者に係るごみ処理等のマナー違反</p> <p>◆<b>温海地域</b></p> <p>○毎年、海岸集落は海岸清掃を行っているが漂流物が増え単位自治組織では対応できない</p>	<p>◆<b>共通</b></p> <p>A 単位自治組織の状況(年齢構成等)に応じた共同作業の役割・作業分担、作業の簡略化の検討</p> <p>B 協働体制の構築</p> <p>◆<b>鶴岡市街地</b></p> <p>C アパート入居者への単位自治組織ルールの周知徹底</p> <p>◆<b>温海地域</b></p> <p>D 海岸の漂流ごみ対策</p>	<p>◆<b>共通</b></p> <p>A 共同作業の在り方の検討【単位自治組織】</p> <p>B D 多様な組織(国、県、市、NPO、企業、ボランティア団体等)による協働体制の検討と実施【市、単位自治組織】</p> <p>◆<b>鶴岡市街地</b></p> <p>C 関係団体との連携によるアパート家主及び入居者への単位自治組織ルールの徹底【市・単位自治組織】</p> <p>◆<b>朝日地域</b></p> <p>A 転出者のほか、地域の縁故者等へ要請【単位自治組織】</p>
<p>【財産管理】</p> <p>◆<b>共通</b></p> <p>○自治公民館をはじめ、単位自治組織の財産の維持・管理が負担になっている</p> <p>○老朽化や耐震対策、高齢化に対応する施設環境整備として、公民館や遊具等の改修が必要となっている</p> <p>◆<b>櫛引地域</b></p> <p>○山林や墓地など単位自治組織等共有財産の所在や境界が不明確なままになっているものがある</p> <p>○共有財産の歴史や経過がきちんと管理されておらず、役員に引き継がれていくか不安がある</p> <p>◆<b>温海地域</b></p> <p>○有線放送設備の配線等の修繕費が多額で財政的に困っている</p> <p>○自治会所有している山林の境界がわかる人がいなくなった</p>	<p>◆<b>共通</b></p> <p>A 自治公民館等の適切な維持・管理</p> <p>B 代替施設等</p> <p>C 整備に係る支援</p> <p>◆<b>櫛引地域</b></p> <p>D 単位自治組織等共有財産に関する境界と歴史経過の明確化</p> <p>◆<b>温海地域</b></p> <p>E 情報伝達システムの確立</p> <p>F 単位自治組織所有の山林、土地等の明確化</p>	<p>◆<b>共通</b></p> <p>A C 各種助成金や協賛金等の外部資金の獲得、獲得に向けた情報収集【単位自治組織、市】</p> <p>A 将来を見通した財政運営の検討(積立等)【単位自治組織】</p> <p>B 空き家等の活用の検討【単位自治組織】</p> <p>C 公民館類似施設整備に係る支援(継続:公民館類似施設整備事業補助金)【市】</p> <p>◆<b>櫛引地域</b></p> <p>D 地区共有財産に関する境界・歴史経過の確認と引継ぎ【単位自治組織】</p> <p>◆<b>朝日地域</b></p> <p>A 長期的な修繕計画の策定【単位自治組織】</p> <p>◆<b>温海地域</b></p> <p>E 情報伝達システムの研究・検討【市、単位自治組織】</p> <p>F 単位自治組織所有の山林、土地等の財産台帳の整備【単位自治組織】</p>

<p>【行政との関わり】</p> <p>◆共通</p> <p>○行政だけや地域だけでは、地域課題の解決は、なかなか進まない</p> <p>○各種の調査報告とりまとめ等、行政からの多様な依頼業務（文書配布、会議、役職推薦、募金等）が町内会の負担となっている（行政の下請けとの苦情が多く聞かれる）</p>	<p>◆共通</p> <p>A地域と行政による課題解決の仕組みづくり</p> <p>B行政から町内会に依頼される仕事の洗い出しや整理・統合</p>	<p>◆共通</p> <p>A地域と行政による課題解決の仕組みづくりの検討を行う場づくり【市、広域コ、単位自治組織】</p> <p>A地区担当職員による行政側の情報提供、地域課題の情報収集、解決に向けた取組支援【市】</p> <p>B行政が単位自治組織に依頼している仕事の洗い出し調査の実施、整理・統合に向けた検討【市】</p> <p>B行政依頼業務に係る財政的支援の継続（継続：鶴岡市住民自治組織総合交付金）【市】</p>
<p>【その他】</p> <p>◆共通</p> <p>○地域コミュニティが抱える課題やその解決策についての共有が図られていない</p>	<p>◆共通</p> <p>A地域コミュニティが抱える課題やその解決策についての情報共有</p>	<p>◆共通</p> <p>A地域課題の解決方策等の事例をホームページに整理し発信【市】</p>

## ②広域コミュニティ組織

### <組織上の課題>

現状、問題意識	課題項目	具体的取組のアイデア（具体的取組を設定するうえで地域資源を活用できるものがあれば記載）※【】は取組主体
<p>【市民の意識】</p> <p>◆共通</p> <p>なし</p> <p>◆藤島地域、羽黒地域、朝日地域</p> <p>○広域コミュニティ組織への理解が進んでいない</p>	<p>◆共通</p> <p>なし</p> <p>◆藤島地域、羽黒地域、朝日地域</p> <p>A広域コミュニティ組織への理解促進</p>	<p>◆共通</p> <p>なし</p> <p>◆藤島地域、羽黒地域、朝日地域</p> <p>A広域コミュニティ組織の意義と活動内容のPR【広域コ】</p> <p>A広域コミュニティ組織への理解促進を目的とした研修会の開催【市、広域コ】</p>
<p>【会員】</p> <p>※会員は学区に所属する単位自治組織の会員で構成されていることから、単位自治組織の組織上の課題と同じ</p>	<p>※会員は学区に所属する単位自治組織の会員で構成されていることから、単位自治組織の組織上の課題と同じ</p>	<p>※会員は学区に所属する単位自治組織の会員で構成されていることから、単位自治組織の組織上の課題と同じ</p>
<p>【役員】</p> <p>◆共通</p> <p>○構成役員は単位自治組織や団体からのあて職が多く役職が重複する等、負担が大きい</p> <p>○役員が一斉に交代するところや、あて職の場合には所属団体の任期で変わるところもあり、地域の問題・課題に積極的に動けない状況にある</p>	<p>◆共通</p> <p>A役員の選任方法の検討</p> <p>B担い手となる人材の確保・育成(再)</p> <p>◆鶴岡市街地</p> <p>C組織の機能や役割等の見直し(役員の役割、分担、負担軽減策等含む)(再)</p>	<p>◆共通</p> <p>A役員の任期・交代・選定方法(公募含む)のあり方検討会の開催【広域コ】(再)</p> <p>B女性の力の活用、女性の活躍の場の拡大(女性を役員に登用)【単位自治組織、広域コ】(再)</p> <p>B若者の活躍の場の拡大【広域コ】(再)</p> <p>B人材育成のための研修機会の充実(町内会若手を対象とした研修会、PTAと連携しての地域人材育成研修会、コミセン職員研修会など)【市】(再)</p> <p>◆鶴岡市街地</p> <p>A C地域の現状に応じた組織体制の見直しを行い、組織及び活動の活性化に繋げる【広域コ】</p>
<p>【会費・資金】</p> <p>◆共通</p> <p>なし</p> <p>◆鶴岡郊外地</p> <p>○会員減少による資金不足が心配される</p> <p>◆藤島地域</p> <p>○新たな事業に取り組む時には財源確保が必要となる</p> <p>◆羽黒地域</p> <p>○住民からの会費がない組織においては、事業運営にゆとりがない</p>	<p>◆共通</p> <p>なし</p> <p>◆鶴岡郊外地</p> <p>A会費のあり方の検討(再)</p> <p>B財政運営の見直し(再)</p> <p>◆鶴岡郊外地、藤島地域、羽黒地域</p> <p>C会費制の導入やコミュニティビジネスを含めた活動資金の確保</p>	<p>◆共通</p> <p>なし</p> <p>◆鶴岡郊外地、藤島地域、羽黒地域</p> <p>A会費のあり方検討会の開催【広域コ】(再)</p> <p>B住民合意に基づく活動の優先順位付けや内容の見直し【広域コ】(再)</p> <p>◆鶴岡郊外地、羽黒地域</p> <p>Cコミュニティビジネスの取組に向けた研究活動【広域コ】(再)</p> <p>◆羽黒地域</p> <p>C各種助成金等活用方法の研究【広域コ】</p>
<p>【組織の規模・エリア】</p> <p>◆共通</p> <p>○1つの小学校区内に、複数の広域コミュニティ組織が存在しているところもあり(その逆もあり)、活動への思い入れ等に温度差が生じる等、一体感を作りあげていくことが難しい</p>	<p>◆共通</p> <p>A広域コミュニティ組織内の情報共有・連携強化</p> <p>B広域コミュニティ組織と学校、PTAとの連絡体制づくり</p>	<p>◆共通</p> <p>A交流や話し合いの機会を持つ【広域コ】</p> <p>Aコミュニティ広報紙(コミュニティだより)の充実による情報発信力の強化【広域コ】(再)</p> <p>B広域コミュニティ組織と学校、PTAとの連絡体制の強化【広域コ】</p>

<p><b>【単位自治組織との関わり】</b></p> <p>◆共通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○単位自治組織と広域コミュニティ組織との役割分担が明確になっていない</li> <li>○少子高齢化に伴い、単位自治組織の機能は縮小傾向にある</li> </ul> <p>◆鶴岡市街地</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○単位自治組織の統廃合は広域コミュニティ組織から主導してほしいとの声がある</li> </ul>	<p>◆共通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A 単位自治組織と広域コミュニティ組織の連携、事業の範囲と役割の調整・明確化</li> <li>B 広域コミュニティ組織による単位自治組織への機能補完、適切な支援やアドバイス</li> </ul> <p>◆鶴岡市街地</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>C 将来を見据えた隣組や単位自治組織の再編の検討</li> </ul>	<p>◆共通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A B C 単位自治組織と広域コミュニティ組織の機能・役割分担会議の開催【単位自治組織、広域コ、市】(再)</li> </ul>
<p><b>【他の地域組織との関わり】</b></p> <p>◆共通</p> <p>なし</p> <p>◆鶴岡市街地、藤島地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各種団体・協議会が多く、同じ顔ぶれの広域コミュニティ組織区域内会合も多く、また、会合自体も多い</li> <li>○各種団体同士の情報交換や連携が十分ではない</li> </ul> <p>◆羽黒地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の区長会や地区の区長会等との関係性が未調整</li> </ul>	<p>◆共通</p> <p>なし</p> <p>◆鶴岡市街地、藤島地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A 広域コミュニティ組織区域内にある様々な組織の整理</li> <li>B 広域コミュニティ組織区域内団体組織による情報交換や連携の場づくり</li> </ul> <p>◆羽黒地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>C 全域の区長会や地区の区長会等と広域コミュニティ組織との関係性の構築</li> </ul>	<p>◆共通</p> <p>なし</p> <p>◆鶴岡市街地</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A 各種団体・組織の統合・再編の検討【単位自治組織、広域コ、市】(再)</li> <li>A 各種団体の事務局を広域コミュニティ組織に集約する等、組織体制の見直しや団体同士の連携を進め地域づくりに活かす【広域コ】</li> </ul> <p>◆鶴岡市街地、藤島地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A B 各種団体組織(広域コミュニティ組織、単位自治組織、学区社協等の団体)による情報交換会の開催、連携に向けた検討【単位自治組織、広域コ、市】</li> </ul> <p>◆羽黒地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>C 広域コミュニティ組織連絡体制の検討【市、広域コ】</li> </ul>
<p><b>【その他】</b></p> <p>◆共通</p> <p>なし</p> <p>◆藤島地域、羽黒地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①広域コミュニティ組織間の情報を共有したい</li> </ul>	<p>◆共通</p> <p>なし</p> <p>◆藤島地域、羽黒地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A 広域コミュニティ組織間の連絡体制づくり</li> </ul>	<p>◆共通</p> <p>なし</p> <p>◆藤島地域、羽黒地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A 広域コミュニティ組織連絡協議会の設立【広域コ】</li> </ul>

### <運営上の課題>

現状、問題意識	課題項目	具体的取組のアイデア (具体的取組を設定するうえで地域資源を活用できるものがあれば記載) ※【】は取組主体
<p><b>【組織の役割・機能】</b></p> <p>◆共通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○人口減少、少子高齢化の中でも、特に防災・福祉がしっかりと機能するための組織づくりが必要(再)</li> <li>○単位自治組織の機能維持が難しくなっており、単位自治組織の機能補完や広域的課題の解決、生涯学習活動の推進等の取組に期待が高まっている</li> </ul> <p>◆鶴岡市街地</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○単位自治組織と広域コミュニティ組織との連携・役割分担により、役員等の負担を少なくしながら、より効果の上がる事業活動が求められている</li> </ul> <p>◆藤島地域、羽黒地域、朝日地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○これまで地区公民館事業として行っていた事業はあるが、新たに取り組むべき活動が手探り状態である</li> </ul> <p>◆朝日地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○これまで地域全体で取組んできた事業は、広域コミュニティ組織の事業として取り組み難い</li> </ul>	<p>◆共通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A 防災・福祉が機能する組織づくり(再)</li> <li>B 地域課題を踏まえた単位自治組織と広域コミュニティ組織の連携・役割分担</li> <li>C 課題解決型広域コミュニティ組織運営への転換・実践</li> <li>D 住民の声を反映した地域ビジョンづくり</li> <li>E 地域における人的ネットワークに資する拠点の確保と情報発信力の強化</li> <li>F 生涯学習活動の推進</li> </ul> <p>◆朝日地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>G 広域コミュニティ組織の連合組織による指導力・調整力の発揮</li> </ul>	<p>◆共通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A B C F 広域コミュニティ組織が先導して「地域課題総合調整会議」を開催し、課題解決のための優先順位付け、役割分担等を決める【広域コ、単位自治組織】(再)</li> <li>A B C 各種団体・組織の統合・再編の検討【単位自治組織、広域コ、市】(再)</li> <li>C 地域コミュニティの実態を把握するための調査の継続実施【市・広域コ】</li> <li>D 住民の声を反映した地区計画の策定【広域コ】</li> <li>E 市民が気軽に集まれる場をつくるための検討会議の開催【広域コ】</li> <li>E コミュニティ広報紙(コミュニティだより)の充実による情報発信力の強化【広域コ】(再)</li> <li>E 各種団体組織(広域コミュニティ組織、単位自治組織、学区社協等の団体)による情報交換会の開催、連携に向けた検討【単位自治組織、広域コ、市】(再)</li> </ul> <p>◆朝日地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>G 広域コミュニティ組織の連合組織への支援体制の構築【市、広域コ】</li> </ul>
<p><b>【事業全般/生涯学習】</b></p> <p>◆共通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○参加者が固定化、高齢化、減少している(再)</li> <li>○地域事業の日程が過密になっている(再)</li> <li>○事業がマンネリ化、固定化、他の地域事業と重複している</li> <li>○事業が多く事務局の負担が増加している</li> <li>○事業を実施する際の担い手不足</li> <li>○単位自治組織の機能維持が難しくなっており、広域コミュニティ組織による生涯学習活動に期待が高まっている</li> </ul>	<p>◆共通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A 事業への参加の呼びかけ(再)</li> <li>B 広域コミュニティ組織の調整機能の発揮</li> <li>C 参加者層を意識した魅力的な事業企画立案と実施(再)</li> <li>D 組織や事業の統合・再編</li> <li>E 関係団体、NPO、志縁団体との協力・連携体制の構築</li> <li>F 地域課題を踏まえた単位自治組織と広域コミュニティ組織の連携・役割分担(再)</li> </ul>	<p>◆共通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A G あきらめず誘い続ける声がけの実践【広域コ】(再)</li> <li>A C G 多様な媒体を活用した事業周知、年齢層やライフステージを意識したPR活動【広域コ】(再)</li> <li>A 総会資料等の作り方に工夫をこらし活動方針や活動自体の見える化【広域コ】(再)</li> <li>B F 広域コミュニティ組織と単位自治組織が協議して事業の優先順位を決め、優先度の高い事業から日程を決める【広域コ、単位自治組織】</li> </ul>

<p>◆鶴岡共通</p> <p>○市民により開かれた広域コミュニティ組織運営が求められている</p> <p>◆藤島地域、羽黒地域、朝日地域</p> <p>○地区公民館として取り組んできた事業の継続と発展</p>	<p>G 新たな人材の掘り起し</p> <p>H 持続可能な事業運営のための人材育成・確保、資金管理(再)</p> <p>I 生涯学習推進員の役割・位置づけ・活用方策の整理</p> <p>J 参加しやすい移動手段の確保</p> <p>◆鶴岡共通</p> <p>J 市民が気軽に集まれる場づくり</p> <p>K 子どもから高齢者まで事業等への参加意識の醸成</p>	<p>C G年齢層やライフステージの観点から通常事業の見直し【広域コ】</p> <p>D 事業ごとに最適な担い手(単位自治組織なのか広域コミュニティ組織なのか、あるいは全くの別組織なのか)を決め、事業を統合・再編する【広域コ】</p> <p>E 分野別に強みを持つ関係団体との事業共催【広域コ】(再)</p> <p>F 単位自治組織と広域コミュニティ組織の機能・役割分担会議の開催【広域コ、単位自治組織】(再)</p> <p>F H地域課題解決に向けた取組支援(継続:住民自治組織ステップアップ事業補助金)【市】</p> <p>H 広域コミュニティ組織の運営・活動支援(継続:広域コミュニティ組織運営・地域づくり交付金)【市】</p> <p>H 外部資金の獲得【広域コ】(再)</p> <p>I 生涯学習推進員の意識づけと研修活動や情報交換【市】</p> <p>I 生涯学習推進員の活動の場の拡大【広域コ】</p> <p>J 事業に参加しやすい参加者の送迎等の検討【広域コ】</p> <p>◆鶴岡共通</p> <p>J 市民が気軽に集まれる場を作るための検討会議の開催【広域コ】</p> <p>K コミュニティ広報紙(コミュニティだより)の充実による情報発信力の強化【広域コ】(再)</p> <p>◆藤島地域</p> <p>G ワークショップによる人材の掘り起しと住民ニーズの把握【広域コ】</p>
<p>【福祉/防犯・防災】</p> <p>◆共通</p> <p>○高齢者や要支援者が増加し、会員の高齢化・減少、若者の減少、さらに平日昼間の人口減少等、地域の防犯・防災体制(消防団等を含む)を弱体化させる要因が増えている(再)</p> <p>○高齢化に伴い、見守りや生活支援を必要とする高齢者世帯や認知症高齢者等の要支援者が増加しており、加えて要支援者の情報(緊急時の連絡者含む)は把握しにくい(再)</p> <p>○空き家が年々増加しており、防犯、防災上の不安を抱えている(再)</p> <p>○不審者の情報が寄せられる等、子どもたちの安全・安心の確保が強く求められている(再)</p> <p>○安全・安心に係る広域コミュニティ組織、単位自治組織の役割分担ができていない(再)</p> <p>◆鶴岡郊外地</p> <p>○消防団の管轄区域がコミュニティ活動の区域と一致していないため、消防団と広域コミュニティ組織との連携が難しく、自主防災活動を進めて行くうえでの障壁となっている</p> <p>◆藤島地域、羽黒地域</p> <p>○緊急時に、単位自治組織と広域コミュニティ組織、市の3者の情報伝達方法をより確立していく必要がある</p>	<p>◆共通</p> <p>A 要支援者への声掛け・見守り・支援体制の構築(再)</p> <p>B 緊急時や災害時に備えた個人情報の提供に係る理解促進と情報収集(再)</p> <p>C 学区内組織や民生児童委員等との連携による情報伝達・収集力の向上(再)</p> <p>D 空き家の実態把握(再)</p> <p>E 子どもの見守り体制の構築(再)</p> <p>F 自主防災組織の充実</p> <p>G 単位自治組織、広域コミュニティ組織の連携・役割分担による安全・安心の確保</p> <p>H 関係団体との協力・連携体制の構築(再)</p> <p>I 高齢者の生活ニーズ(除雪・買い物・通院等)への対応(再)</p> <p>◆鶴岡共通</p> <p>J 消防団 0B の活用(消防団活動協力員の強化含む)</p> <p>◆鶴岡市街地</p> <p>K 高齢者の孤立予防対策</p> <p>◆鶴岡郊外地</p> <p>L 消防団と広域コミュニティ組織が連携できる体制づくり</p> <p>◆藤島地域、羽黒地域</p> <p>M 緊急時の情報伝達手順の確立</p>	<p>◆共通</p> <p>A 単位自治組織と連携した災害時要援護者支援計画の策定【広域コ、単位自治組織】(再)</p> <p>A B 自治組織による要支援者の把握への市の協力(避難行動要支援者個別支援計画等作成支援事業)【市】(再)</p> <p>A F G 単位自治組織と広域コミュニティ組織に市も加わっての機能・役割分担会議の開催【広域コ、単位自治組織、市】</p> <p>B 緊急時や災害時に備えた住民情報収集の必要性、取扱い方法、活用方法及び活用成果についての説明・情報公開、その情報収集【広域コ、単位自治組織、市】(再)</p> <p>B アンケートを活用してのコミュニティ活動に必要な住民情報や住民ニーズの収集・把握【広域コ、単位自治組織】(再)</p> <p>C H 単位自治組織・広域コミュニティ組織、民生児童委員・社会福祉協議会の連携による情報収集活動の実践【広域コ、単位自治組織】(再)</p> <p>D 単位自治組織と情報を共有する体制づくり【広域コ・単位自治組織】</p> <p>E G H 学校、保護者、単位自治組織、広域コミュニティ組織、地域団体との連携による「見守り隊」活動の実践【単位自治組織、広域コ】(再)</p> <p>F G H 関係団体等との協働による防災訓練の実施【広域コ】</p> <p>I 高齢者の生活ニーズ(支援が必要な人と支援ができる人の情報収集、必要とされる支援内容の洗い出し、高齢者支援のボランティア体制の確立)への対応策の検討【広域コ、単位自治組織】(再)※広域コは組織があるところ</p> <p>◆鶴岡共通</p> <p>F H J 登録の消防団活動協力員への活動協力・参加について、あきらめず誘い続ける声掛けの実践【広域コ、単位自治組織】(再)</p> <p>I 高齢者の生活ニーズを踏まえ、持続可能な課題解決の手法として、コミュニティビジネスの取組に向けた研究活動【広域コ】(再)</p> <p>◆鶴岡郊外地</p> <p>L 消防団と広域コミュニティ組織との連携に向けた情報交換会の開催【広域コ】</p> <p>◆藤島地域</p>



		<p>AM防災訓練時に緊急時の情報伝達訓練をあわせて実施【広域コ】</p> <p>G各単位自治組織の状況を把握し、広域コミュニティ組織で取り組むべき課題の整理【広域コ】</p> <p>◆羽黒地域</p> <p>M防災情報無線やメール配信などによる情報伝達、情報収集方法の検討【広域コ、市】</p> <p>◆朝日地域</p> <p>F自治会内の消防団OBの調査・把握と協力員への参加促進【消防団】(再)</p> <p>I除排雪サービス体制の事業化検討【市】(再)</p> <p>I豪雪対策特別支援事業の拡充【市】(再)</p> <p>I高齢者いきいきパスの拡充【市】(再)</p> <p>I買い物代行サービスの事業化【市】(再)</p> <p>I除雪パートナーズ等の既存事業の活用【市】(再)</p> <p>I移送サービスの検討【市】(再)</p>
<p>【施設】</p> <p>◆共通</p> <p>○施設老朽化等の問題を抱えるコミュニティ(防災)センター等がある</p> <p>○今後増加する高齢者や子育て世代に配慮した利用しやすいコミュニティ(防災)センター等の施設環境が求められる</p> <p>○希望日に施設借用予約が取れないとの声がある</p> <p>◆朝日地域</p> <p>○地域全体の団体(サークルなど)等に対して、利便性が公民館より低下している</p>	<p>◆共通</p> <p>A老朽化等の問題を抱えるコミュニティ(防災)センターの施設環境の改善、施設機能の充実</p> <p>Bコミュニティ(防災)センターのバリアフリー化の推進</p> <p>C施設利用受付・貸出方法の見直し</p>	<p>◆共通</p> <p>ABCコミュニティ(防災)センターにおける老朽化対策の計画的な実施、施設機能整備、バリアフリー化の推進、駐車場の拡張【市】</p> <p>C施設利用受付・貸出方法の再検討【市】</p>
<p>【他の地域組織との関わり】</p> <p>◆共通</p> <p>なし</p> <p>◆鶴岡地域</p> <p>○コミセンに人的ネットワークに資する拠点性が求められている</p> <p>◆藤島地域、羽黒地域</p> <p>○単位自治組織の連合組織の役員が、あて職で広域コミュニティ組織の役員を担う等、負担が増大している</p> <p>◆藤島地域、羽黒地域、朝日地域</p> <p>○地域全域で構成される組織が多く、広域コミュニティ組織と連携しにくい</p>	<p>◆共通</p> <p>なし</p> <p>◆鶴岡市街地</p> <p>Aコミセンの地域における人的ネットワークに資する拠点性の確保と情報発信力の強化(再)</p> <p>B学区団体等と広域コミュニティ組織との連携強化</p> <p>◆鶴岡市街地、羽黒地域</p> <p>C広域コミュニティ組織職員や役員、リーダーの人材育成</p> <p>◆藤島地域</p> <p>D広域コミュニティ組織区域内にある様々な組織の整理及び簡素化を図る(再)</p> <p>◆藤島地域、羽黒地域</p> <p>E地域全域で構成される組織と広域コミュニティ組織との連携</p> <p>◆朝日地域</p> <p>F広域コミュニティ組織の連合組織による指導力・調整力の発揮(再)</p>	<p>◆共通</p> <p>なし</p> <p>◆鶴岡共通</p> <p>ABC広域コミュニティ組織における住民活動の場を広げるコーディネート機能の発揮【広域コ】</p> <p>C人材育成のための研修機会の充実(単位自治組織若手を対象とした研修会、PTAと連携しての地域人材育成研修会、コミセン職員研修会など)【市】(再)</p> <p>◆藤島地域</p> <p>D広域コミュニティ組織と連携し、組織の整理・統合の検討【広域コ】</p> <p>◆藤島地域、羽黒地域</p> <p>E地域全域で構成される組織と広域コミュニティ組織との連絡調整会議の開催【広域コ】</p> <p>◆羽黒地域</p> <p>Cあて職に頼らない役員人材の発掘と育成【広域コ、市】</p> <p>◆朝日地域</p> <p>F広域コミュニティ組織の連合組織による支援体制の構築【市、広域コ】</p>
<p>【行政との関わり】</p> <p>◆共通</p> <p>○行政へ相談しても地域課題の解決が進まない不満がある</p> <p>○地域の諸問題解決のため、住民と行政の橋渡し役として、広域コミュニティ組織に寄せる期待が高まっている</p> <p>◆藤島地域、羽黒地域、朝日地域</p> <p>○広域コミュニティ組織が立ち上がったばかりであり、行政からの人的支援を必要としている</p>	<p>◆共通</p> <p>A広域コミュニティ組織と行政の信頼関係の構築</p> <p>B地域と行政による課題解決の仕組みづくり(再)</p> <p>C住民と行政の橋渡し機能構築</p> <p>◆藤島地域、羽黒地域、朝日地域</p> <p>D広域コミュニティ組織の人材育成</p>	<p>◆共通</p> <p>ABC地域と行政による課題解決の仕組みづくりの検討を行う場づくり【市、広域コ、単位自治組織】(再)</p> <p>ABC地区担当職員による行政側の情報提供、地域課題の情報収集、解決に向けた取組支援【市、単位自治組織、広域コ】(再)</p> <p>BD地域課題解決に向けた研修会の開催【市、広域コ】</p>

## (2) 地域(住民)が抱える課題

現状、問題意識	課題項目	具体的取組のアイデア(具体的取組を設定するうえで地域資源を活用できるものがあれば記載)※【】は取組主体
<p>【地域連帯感の希薄化、帰属意識の低下】</p> <p>◆共通</p> <p>○隣近所の付き合いが希薄になった</p> <p>○地域への帰属意識が希薄になった</p> <p>○職業の多様化による結束力の弱体化(再)</p>	<p>◆共通</p> <p>A近隣関係の再構築(再)</p> <p>B世代間交流の推進(再)</p> <p>C地域と子どものつながりの確保</p>	<p>◆共通</p> <p>A笑顔で挨拶を交わす取組の実践【単位自治組織】(再)</p> <p>A近隣が気軽に話し合える雰囲気や場づくり(隣組座)</p>

<p>○農業等、地域で一体となって取り組む産業が衰退し、繋がりが少なくなった</p>	<p>◆朝日地域 Dスポーツ事業など若者参加型の事業の推進</p>	<p>談会など【単位自治組織】(再) B各世代が単位自治組織活動に参加しやすい雰囲気や場づくり【単位自治組織】(再) C地域の子どもの郷土愛を育む地域教育活動の実践【単位自治組織、市】(再) C地域コミュニティ組織で子どものころから地域に愛着を持てるような機会の提供【単位自治組織、広域コ、市】※広域コは組織があるところ C出来る限り地域事情に配慮した学校運営の実践【市】(再)</p> <p>◆朝日地域 A D 近隣自治会または広域コミュニティ組織との共催によるスポーツ大会の開催と参加【単位自治組織、広域コ】</p>
<p>【少子化の進展(子どもの減少)、子育て環境の変化】 ◆共通 ○核家族や一人親の家庭では、子育てや地域活動への負担が大きい ○子どもの通学の安全確保(少子化で帰りが一人のところもある) ○子育ての孤立化</p> <p>◆鶴岡郊外地、羽黒地域、朝日地域、温海地域 ○少子化に伴う小学校の再編が進み、地域への様々な影響が心配される</p> <p>◆温海地域 ○少子化により子ども会活動が停滞し、自然を体験する場が少なくなった</p>	<p>◆共通 A地域で子どもを育てる意識醸成と活動推進 B子どもの見守り対策の推進 C子育て家庭と地域との繋がりの確保</p> <p>◆鶴岡郊外地、羽黒地域、櫛引地域、朝日地域、温海地域 D地域と子どもとの繋がりの確保</p> <p>◆温海地域 E子どもの自然体験の推進</p>	<p>◆共通 A D 児童居住地の放課後児童クラブや放課後子ども教室等の場の確保【市、広域コ】※広域コは組織があるところ A B 学校、保護者、単位自治組織、広域コミュニティ組織、地域団体との連携による「見守り隊」活動の実践【単位自治組織】(再) C 育児サークル等、地域の中で子育てする環境づくり【市、広域コ、単位自治組織】</p> <p>◆温海地域 E子どもの自然体験事業の実践【市、単位自治組織】</p>
<p>【晩婚化、未婚化の進展】 ◆共通 ○晩婚、未婚が増えており、将来的に地域コミュニティに与える影響が心配される ○中高年層の未婚者が多い ○世話焼きの活動や結婚したい人を地域で後押しする環境が衰退している</p>	<p>◆共通 A結婚支援 B地域・自治会等で出会いの機会創出 C世話焼き・仲人活動の環境づくり</p>	<p>◆共通 A B 婚活事業の継続実施【市、広域コ】※広域コは組織があるところ C つるおか婚シェルジュの理解促進、活動の充実【市、広域コ、単位自治組織】</p> <p>◆櫛引地域 C 地域と連携しながら結婚を後押しする環境づくり【市、単位自治組織】</p>
<p>【若者の流出】 ◆共通 ○就労の場が少なく若者が流出している</p> <p>◆藤島地域、朝日地域 ○農業や商業など家業を継いでも生活が成り立たず、勤めるにしても就労の場が少ないため、後継者が流出している</p> <p>◆羽黒地域、櫛引地域 ○農業世帯の後継者が少ない</p> <p>◆温海地域 ○結婚や子どもの小学校入学を契機に市街地へ転出するケースがある</p>	<p>◆共通 A地域資源を活用した雇用の創出 B移住・定住促進(再)</p> <p>◆羽黒地域、櫛引地域 C農業環境の改善 D就農者への支援</p> <p>◆温海地域 E転出の防止対策</p>	<p>◆共通 Aコミュニティビジネスの取組に向けた研究活動【広域コ、単位自治組織】(再)※広域コは組織があるところ B E 首都圏等における地元出身者との交流イベントの開催と地元PRの実施【広域コ、市】 B新しい住民を受け入れる体制づくり(住民自治組織のルールを説明、気軽に参加できるイベントを開催する等)【単位自治組織、広域コ】</p> <p>◆羽黒地域 C畑地の除れき【市】 D農業体験や農業研修生の受け入れ【市】</p> <p>◆羽黒地域、櫛引地域 C新規就農アドバイザーによる支援【市】</p> <p>◆櫛引地域 B空き家利用によるUターン・Iターン等移住希望者の定住促進【市、単位自治組織】(再) D若手農業者による研究グループの組織化支援【市】</p> <p>◆温海地域 E教育や子育て環境の整備【市、単位自治組織】</p>

<p><b>【空き家の増加】</b></p> <p>◆共通 ○空き家が増えている ○管理不良の空き家による周辺環境への悪影響がある</p> <p>◆藤島地域 ○空き家の増加で有害鳥獣の被害が増加している</p> <p>◆羽黒地域 ○空き家の増加による防災や衛生上の問題の増加(倒壊の恐れ、草刈り放置による害虫の発生、火災の心配)</p> <p>◆温海地域 ○土地も含め空き家も売却したいが相手方が見つからない現状である ○高齢者単独世帯が多く、所有者が亡くなった場合、近親者が遠方に転出して連絡が取りづらかったり、相続権の問題などで管理者が特定できないケースが多い</p>	<p>◆共通 A 空き家の有効活用・利用促進 B 空き家の適正管理</p>	<p>◆共通 A 空き家バンクへの登録を推進し、移住希望者や利用希望者への的確な情報提供を行うことで、その有効活用を図る【NPO 法人つるおかランド・バンク、市、単位自治組織】 A B 市と自治組織の協力による空き家の実態把握【市、単位自治組織】 A B 市への情報提供や通報【単位自治組織】 B 法及び市条例に基づく適正管理の働きかけ及び応急措置等の実施【市】</p> <p>◆櫛引地域 A B 地区担当職員の活用と単位自治組織との情報共有と協力体制の推進【市、単位自治組織】</p> <p>◆櫛引地域 A 空き家利用による U ターン・I ターン等移住希望者の定住促進【市、単位自治組織】(再)</p>
<p><b>【地域伝統芸能文化の継承】</b></p> <p>◆共通 ○担い手が不足し、伝統芸能の継承に不安を抱えている</p> <p>◆鶴岡郊外地 ○神社等への思い入れが薄くなってきている ○学校の再編によって地域に小学校が無くなったため、地域行事への子どもの参加に支障をきたしている、地域行事と学校の連携が十分に図られていない</p> <p>◆温海地域 ○伝統芸能・祭典が数日にわたって行われる際、会社から休暇がもらえない場合がある ○祭典等で羽織・袴・理容・美容等に係る経費が負担になっている ○高齢化により途絶えてしまった伝統芸能文化も多い</p>	<p>◆共通 A 担い手となる人材の確保・育成(再) B 伝統芸能文化への理解促進と情報発信 C 地域伝統行事へ参加しやすい環境づくり D 伝統芸能文化の記録保存</p> <p>◆鶴岡郊外地 E 出来る限り地域事情に配慮した学校運営(再) F 特に幼少期における伝統芸能文化への理解促進</p> <p>◆温海地域 G 祭典等への参加体制の検討 H 祭典の工夫と簡素化</p>	<p>◆共通 A 運営主体を若い世代に任せ、ベテラン世代は不備・不足を補う役を担いながら、若い人材の確保や参加しやすい環境づくりを目指す【単位自治組織】 B C E F 小さい頃から地域の伝統行事への理解を促すような機会の提供【単位自治組織、市】 C G 出来る限り地域事情に配慮した学校運営の実践【市】(再) C H 開催日の変更の検討【単位自治組織】 D 過去に演じられた映像や唄などの音声記録を劣化、紛失しないうちにデジタルデータにて記録保存を行う【単位自治組織】</p>
<p><b>【地域団体の活力低下、多様化】</b></p> <p>◆共通 ○地域団体において、会員の減少、リーダーが育たない、活動停滞、組織の解散といった問題が生じている ○多種多様なサークル等はあるが、それらが地域の活性化に繋がっていない ○価値観や生活様式が多様化しており、地域団体に所属する必要性が感じられなくなっている</p>	<p>◆共通 A 地域活動の必要性や楽しさを伝える B 地域リーダーとなる人材の確保・育成 C 担い手の確保</p>	<p>◆共通 A C 事業を通じて自分が必要とされている喜びや達成感・生きがいを共有できる仕掛けづくり(支援含む)【各種団体、広域コ】(再) ※広域コは組織があるところ A C 団体活動の PR【各種団体】 A C 各種団体同士の連携や交流を推進し活動の活性化に繋げる(コーディネート含む)【各種団体、広域コ】 ※広域コは組織があるところ B 人材育成のための研修機会の充実(住民会若手を対象とした研修会、PTA と連携しての地域人材育成研修会、コミセン職員研修会など)【市】(再)</p>
<p><b>【公共交通の不便さ】</b></p> <p>◆共通 ○バスの運行本数が少ない、通らない集落もあり、特に高齢者は通院、買い物等が不便である ※市街地以外共通</p> <p>◆温海地域 ○バス利用が減少していることで、いつバス事業者から運行廃止されるか不安</p>	<p>◆共通 A 市街地への移動手段の確保※市街地以外共通</p> <p>◆温海地域 B バスに替る交通手段の確保</p>	<p>◆共通 A 移動手段の検討【市】</p> <p>◆温海地域 B バスに替る交通機関の検討【市、企業、NPO】</p>
<p><b>【その他】</b></p> <p>◆共通 ○野生動物による鳥獣被害が発生し、耕作意欲をなくす農家が増えている</p> <p>◆藤島地域、温海地域 ○農家が少なくなり、農業用水路の管理や、農業生産組合、機械利用組合の存続も難しくなってきた</p> <p>◆櫛引地域 ○櫛引の特色である果樹栽培などの優れた技術</p>	<p>◆共通 A 鳥獣被害の回避</p> <p>◆藤島地域 B 農業後継者の確保</p> <p>◆櫛引地域 C 果樹栽培の中核的な担い手の育成</p> <p>◆朝日地域 D 猟友会員の育成と駆除体制の確保</p> <p>E 特に市街地住民の、山菜や私有地山林に対する</p>	<p>◆共通 A 行政や単位自治組織、関係機関と連携した鳥獣被害対策の実施【市】</p> <p>◆藤島地域 A 広域コミュニティ組織単位で空き家と有害鳥獣駆除について研修会の開催【広域コ】 B 農家の所得向上対策の推進による農業後継者の確保【市】</p> <p>◆櫛引地域</p>

<p>の継承が途絶えることへの不安がある</p> <p>◆朝日地域</p> <p>○他所から来ての山菜盗難が多い</p> <p>○撤退や廃業により近場に店舗がなくなり不便</p> <p>○敬老会や運動会等の複数の単位自治組織による共催事業について連携・協力体制の低下がみられる</p> <p>◆温海地域</p> <p>○山間部の医療機関がなくなり高齢者の通院が難しくなった</p>	<p>認識不足の解消に向けた対策等の検討</p> <p>F 宅配や移動販売の利用</p> <p>G 単位自治組織への問題提起と体制強化</p> <p>◆温海地域</p> <p>H 農家の所得向上</p> <p>I 耕作放棄地の防止</p> <p>J 中山間部の医療体制確保</p>	<p>C 担い手育成の仕組みづくりと支援【市】</p> <p>C 有利な情報の提供【市】</p> <p>◆朝日地域</p> <p>A D 若者の猟友会員への勧誘【単位自治組織】</p> <p>E 広報と啓発【市】</p> <p>F 買い物代行サービスの事業化【市】(再)</p> <p>G 広域コミュニティ組織の体制を活用した参加促進【広域コ】</p> <p>◆温海地域</p> <p>H 農家の所得向上対策の推進【市、関係団体等】</p> <p>I 耕作放棄地の防止対策【市、関係団体等】</p> <p>J 中山間部の医療体制の構築【市、医療団体】</p> <p>J 隣近所の見守り体制の構築【単位自治組織、市】</p>
--	--	---

## Ⅱ 参考統計資料

### (1) 地域の世帯数、人口、人口構成の推移

①鶴岡地域 (人)

	平成15年 住基台帳	平成18年 住基台帳	平成21年 住基台帳	平成24年 住基台帳	平成27年 住基台帳
世帯数	33,899	34,764	35,010	35,568	36,141
総人口	99,245	98,070	96,130	94,619	92,918
0～14歳	14,597	13,695	12,842	12,163	11,438
割合 (%)	14.7	14.0	13.4	12.9	12.3
15～64歳	60,780	59,587	57,415	56,053	53,519
割合 (%)	61.2	60.8	59.7	59.2	57.6
65歳～	23,868	24,788	25,873	26,403	27,961
割合 (%)	24.0	25.3	26.9	27.9	30.1

②藤島地域 (人)

	平成15年 住基台帳	平成18年 住基台帳	平成21年 住基台帳	平成24年 住基台帳	平成27年 住基台帳
世帯数	3,057	3,065	3,123	3,145	3,180
総人口	12,310	11,895	11,565	11,137	10,696
0～14歳	1,730	1,608	1,534	1,419	1,273
割合 (%)	14.1	13.5	13.3	12.7	11.9
15～64歳	7,267	6,944	6,658	6,379	5,934
割合 (%)	59.0	58.4	57.6	57.3	55.5
65歳～	3,313	3,343	3,373	3,339	3,489
割合 (%)	26.9	28.1	29.2	30.0	32.6

③羽黒地域 (人)

	平成15年 住基台帳	平成18年 住基台帳	平成21年 住基台帳	平成24年 住基台帳	平成27年 住基台帳
世帯数	2,395	2,450	2,551	2,565	2,587
総人口	9,776	9,554	9,351	9,046	8,681
0～14歳	1,376	1,263	1,185	1,115	1,019
割合 (%)	14.1	13.2	12.7	12.3	11.7
15～64歳	5,736	5,616	5,500	5,350	4,964
割合 (%)	58.7	58.8	58.8	59.1	57.2
65歳～	2,664	2,675	2,666	2,581	2,698
割合 (%)	27.3	28.0	28.5	28.5	31.1

## ④ 榑引地域

(人)

	平成15年 住基台帳	平成18年 住基台帳	平成21年 住基台帳	平成24年 住基台帳	平成27年 住基台帳
世帯数	1,999	2,037	2,070	2,115	2,166
総人口	8,571	8,324	8,062	7,783	7,480
0～14歳	1,296	1,153	1,059	932	848
割合 (%)	15.1	13.9	13.1	12.0	11.3
15～64歳	5,036	4,834	4,683	4,576	4,267
割合 (%)	58.8	58.1	58.1	58.8	57.0
65歳～	2,239	2,337	2,320	2,275	2,365
割合 (%)	26.1	28.1	28.8	29.2	31.6

## ⑤ 朝日地域

(人)

	平成15年 住基台帳	平成18年 住基台帳	平成21年 住基台帳	平成24年 住基台帳	平成27年 住基台帳
世帯数	1,415	1,395	1,366	1,381	1,354
総人口	5,810	5,458	5,093	4,834	4,488
0～14歳	775	647	551	487	430
割合 (%)	13.3	11.9	10.8	10.1	9.6
15～64歳	3,307	3,114	2,881	2,737	2,442
割合 (%)	56.9	57.1	56.6	56.6	54.4
65歳～	1,728	1,697	1,661	1,610	1,616
割合 (%)	29.7	31.1	32.6	33.3	36.0

## ⑥ 温海地域

(人)

	平成15年 住基台帳	平成18年 住基台帳	平成21年 住基台帳	平成24年 住基台帳	平成27年 住基台帳
世帯数	3,170	3,122	3,046	2,950	2,865
総人口	10,646	9,987	9,418	8,727	8,050
0～14歳	1,315	1,142	1,021	865	724
割合 (%)	12.4	11.4	10.8	9.9	9.0
15～64歳	5,970	5,543	5,069	4,661	4,055
割合 (%)	56.1	55.5	53.8	53.4	50.4
65歳～	3,361	3,302	3,328	3,201	3,271
割合 (%)	31.6	33.1	35.3	36.7	40.6

## ⑦ 鶴岡市全域

(人)

	平成15年 住基台帳	平成18年 住基台帳	平成21年 住基台帳	平成24年 住基台帳	平成27年 住基台帳
世帯数	45,935	46,833	47,166	47,724	48,293
総人口	146,358	143,288	139,619	136,146	132,313
0～14歳	21,089	19,508	18,192	16,981	15,732
割合 (%)	14.4	13.6	13.0	12.5	11.9
15～64歳	88,096	85,638	82,206	79,756	75,181
割合 (%)	60.2	59.8	58.9	58.6	56.8
65歳～	37,173	38,142	39,221	39,409	41,400
割合 (%)	25.4	26.6	28.1	28.9	31.3

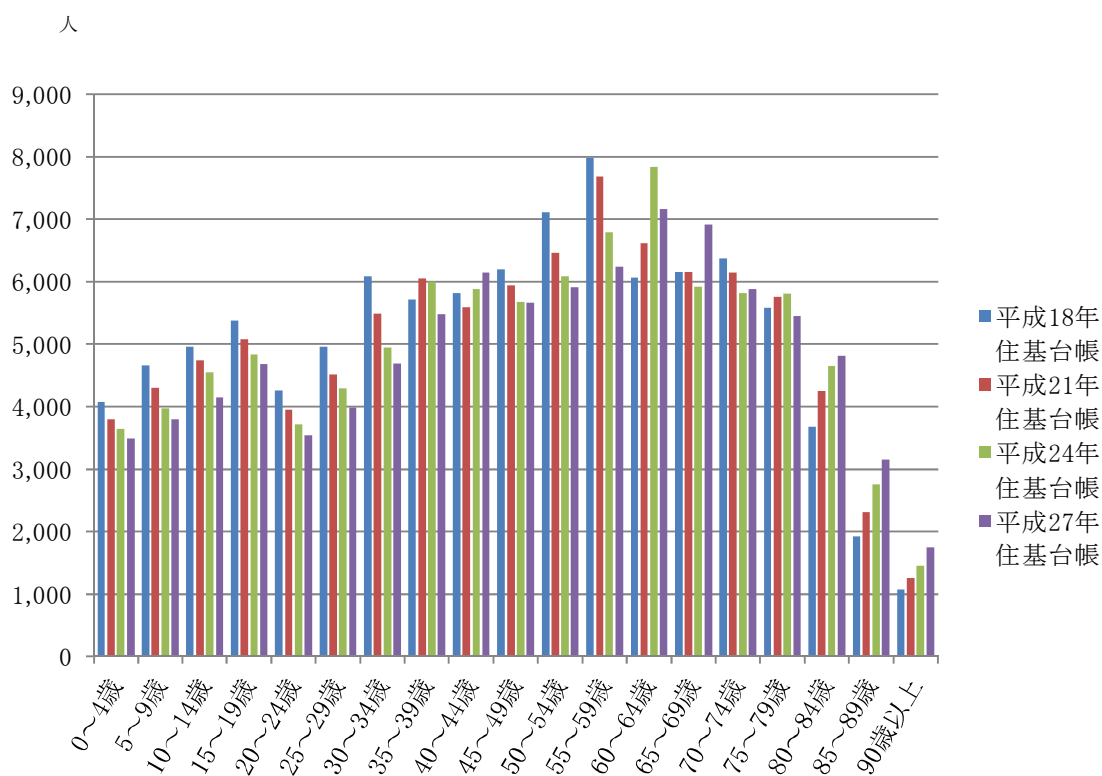
※住民基本台帳は3月末の数値。割合 (%) は、小数点以下第2位を四捨五入し表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

※平成24年6月までは、総人口に外国人住民が含まれていない。なお、本編の2(1) 鶴岡市の社会増減・自然増減の推移には外国人住民が含まれている。

## (2) 地域の年齢(5歳)階級別人口の推移

①鶴岡地域 (人)

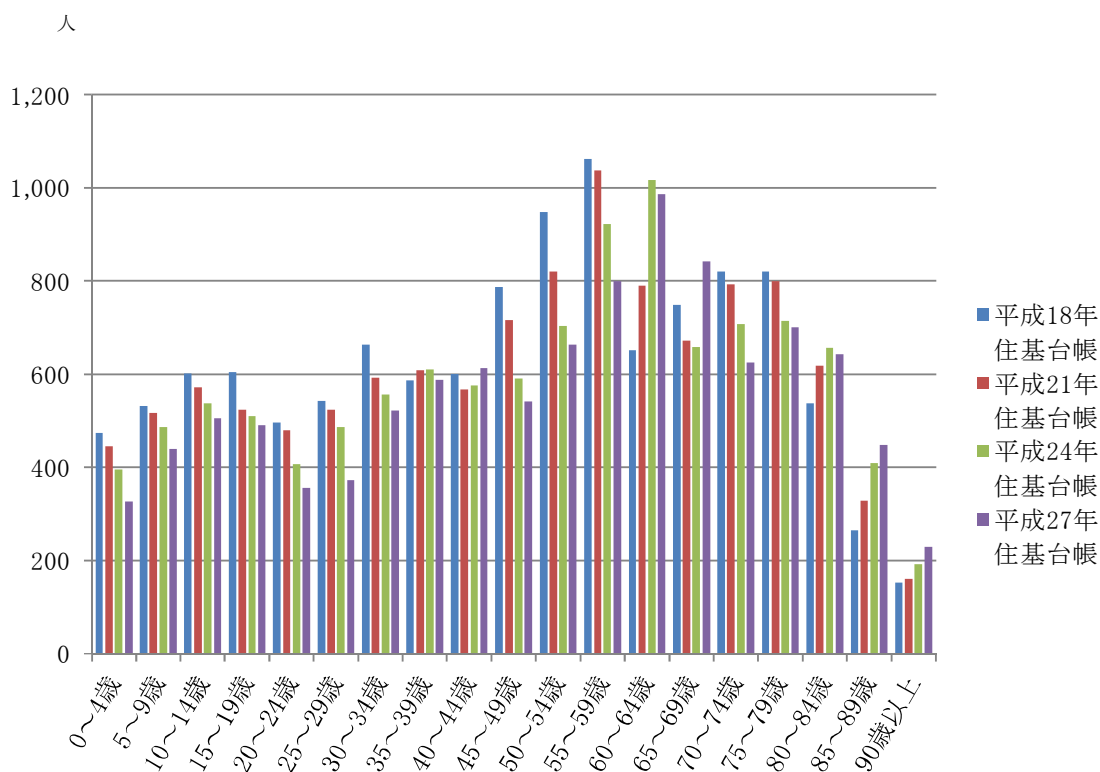
	平成18年 住基台帳	平成21年 住基台帳	平成24年 住基台帳	平成27年 住基台帳
0～4歳	4,083	3,794	3,646	3,491
5～9歳	4,659	4,302	3,969	3,798
10～14歳	4,953	4,746	4,548	4,149
15～19歳	5,385	5,084	4,831	4,684
20～24歳	4,264	3,950	3,721	3,541
25～29歳	4,963	4,511	4,292	3,991
30～34歳	6,089	5,493	4,944	4,695
35～39歳	5,715	6,058	6,001	5,484
40～44歳	5,818	5,597	5,875	6,152
45～49歳	6,198	5,949	5,676	5,664
50～54歳	7,108	6,464	6,085	5,908
55～59歳	7,980	7,684	6,795	6,244
60～64歳	6,067	6,625	7,833	7,156
65～69歳	6,162	6,155	5,918	6,914
70～74歳	6,374	6,143	5,815	5,880
75～79歳	5,584	5,759	5,808	5,453
80～84歳	3,673	4,248	4,649	4,811
85～89歳	1,926	2,309	2,757	3,155
90歳以上	1,069	1,259	1,456	1,748
合計	98,070	96,130	94,619	92,918



②藤島地域

(人)

	平成18年 住基台帳	平成21年 住基台帳	平成24年 住基台帳	平成27年 住基台帳
0～4歳	474	445	396	327
5～9歳	532	517	486	440
10～14歳	602	572	537	506
15～19歳	605	523	510	490
20～24歳	496	479	406	356
25～29歳	543	523	486	373
30～34歳	663	592	557	522
35～39歳	587	609	610	588
40～44歳	600	568	576	613
45～49歳	788	716	591	542
50～54歳	948	820	704	663
55～59歳	1,062	1,037	922	800
60～64歳	652	791	1,017	987
65～69歳	749	672	658	842
70～74歳	820	793	708	625
75～79歳	820	800	715	701
80～84歳	537	619	657	643
85～89歳	265	328	409	448
90歳以上	152	161	192	230
合計	11,895	11,565	11,137	10,696

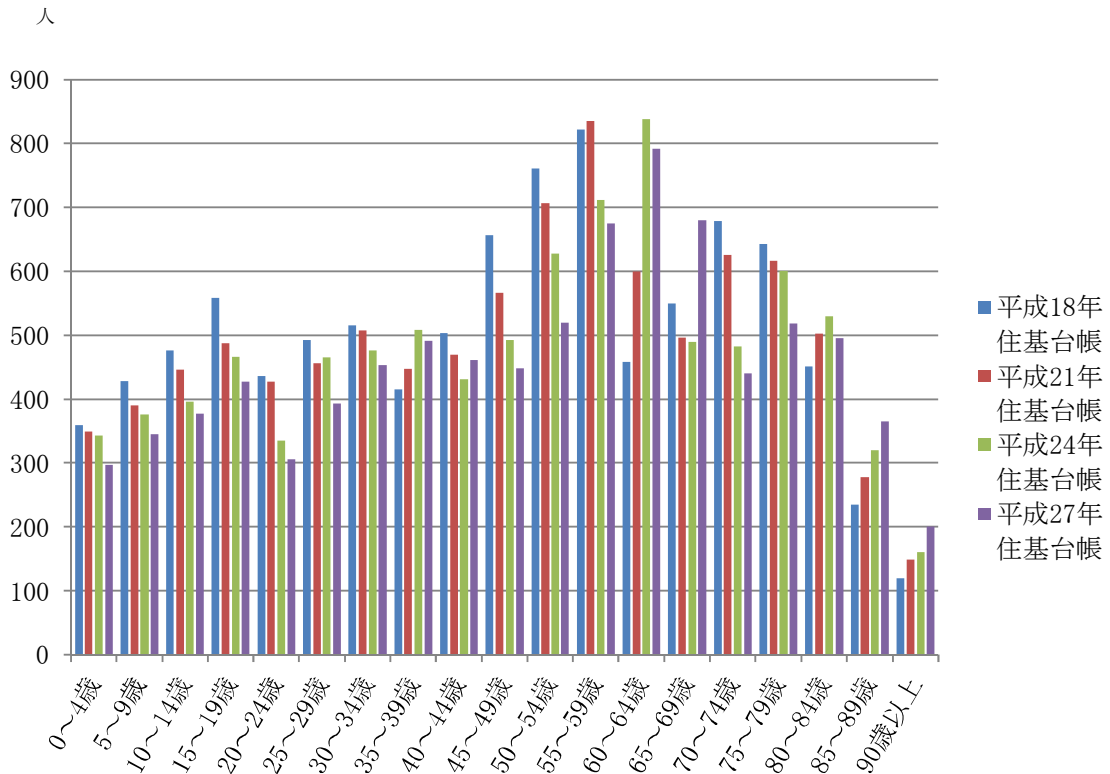




③羽黒地域

(人)

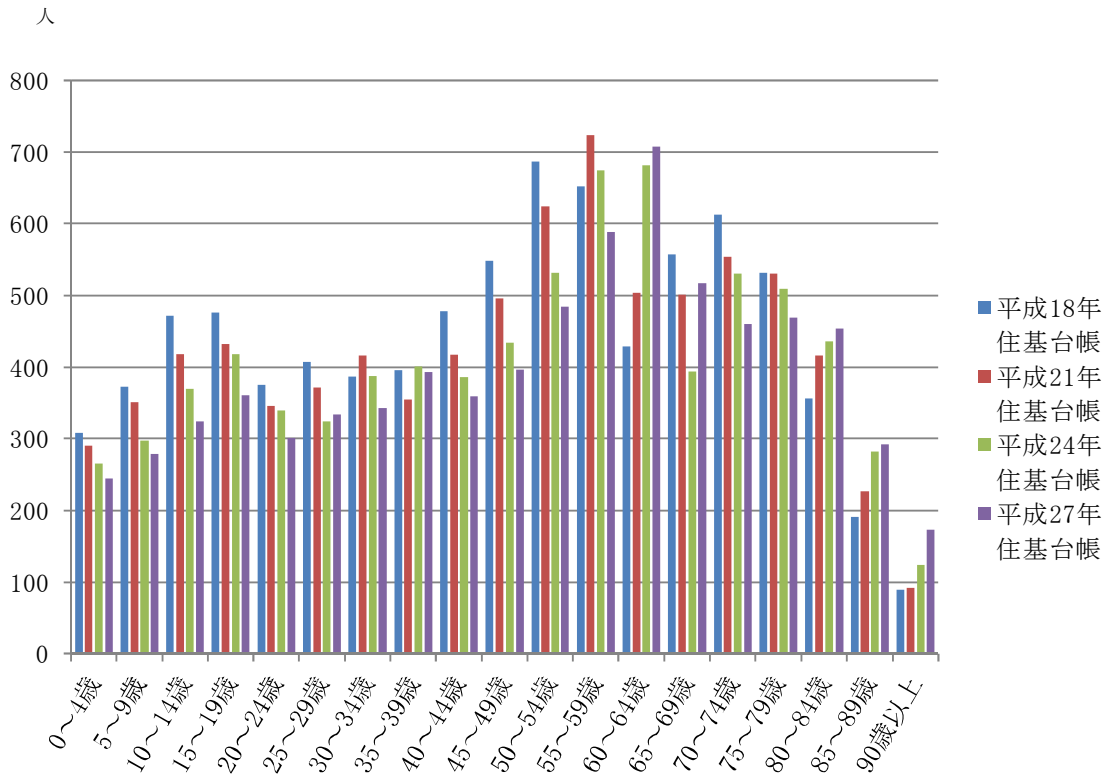
	平成18年 住基台帳	平成21年 住基台帳	平成24年 住基台帳	平成27年 住基台帳
0～4歳	359	349	343	297
5～9歳	428	390	376	345
10～14歳	476	446	396	377
15～19歳	558	487	466	427
20～24歳	436	427	335	306
25～29歳	492	456	465	393
30～34歳	515	507	476	453
35～39歳	415	447	508	491
40～44歳	503	469	431	461
45～49歳	656	566	492	448
50～54歳	761	707	627	519
55～59歳	822	835	712	674
60～64歳	458	599	838	792
65～69歳	549	496	489	679
70～74歳	678	625	482	440
75～79歳	642	616	600	518
80～84歳	451	502	529	495
85～89歳	235	278	320	365
90歳以上	120	149	161	201
合計	9,554	9,351	9,046	8,681



④ 櫛引地域

(人)

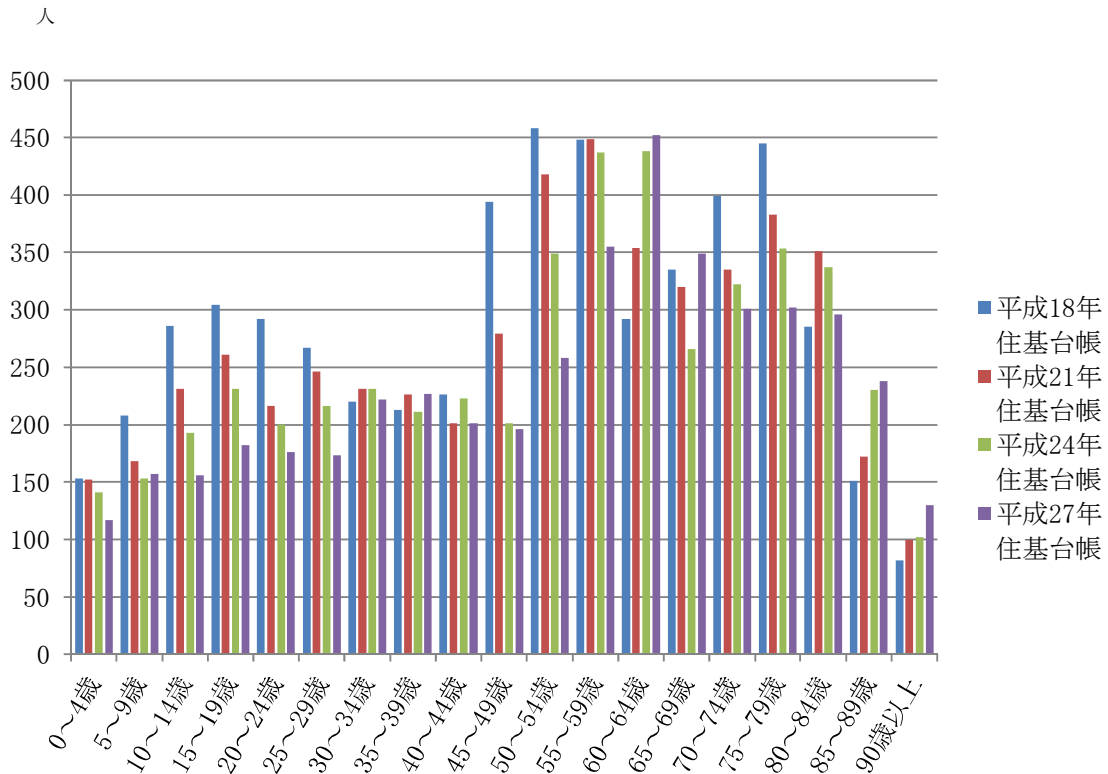
	平成18年 住基台帳	平成21年 住基台帳	平成24年 住基台帳	平成27年 住基台帳
0～4歳	308	290	265	245
5～9歳	373	351	297	279
10～14歳	472	418	370	324
15～19歳	476	432	418	361
20～24歳	375	345	339	301
25～29歳	407	372	324	334
30～34歳	387	416	388	343
35～39歳	396	354	401	393
40～44歳	478	417	386	359
45～49歳	548	496	434	397
50～54歳	686	624	531	484
55～59歳	652	723	674	588
60～64歳	429	504	681	707
65～69歳	557	501	394	517
70～74歳	612	554	530	460
75～79歳	531	530	509	469
80～84歳	356	416	436	454
85～89歳	191	227	282	292
90歳以上	90	92	124	173
合計	8,324	8,062	7,783	7,480



⑤朝日地域

(人)

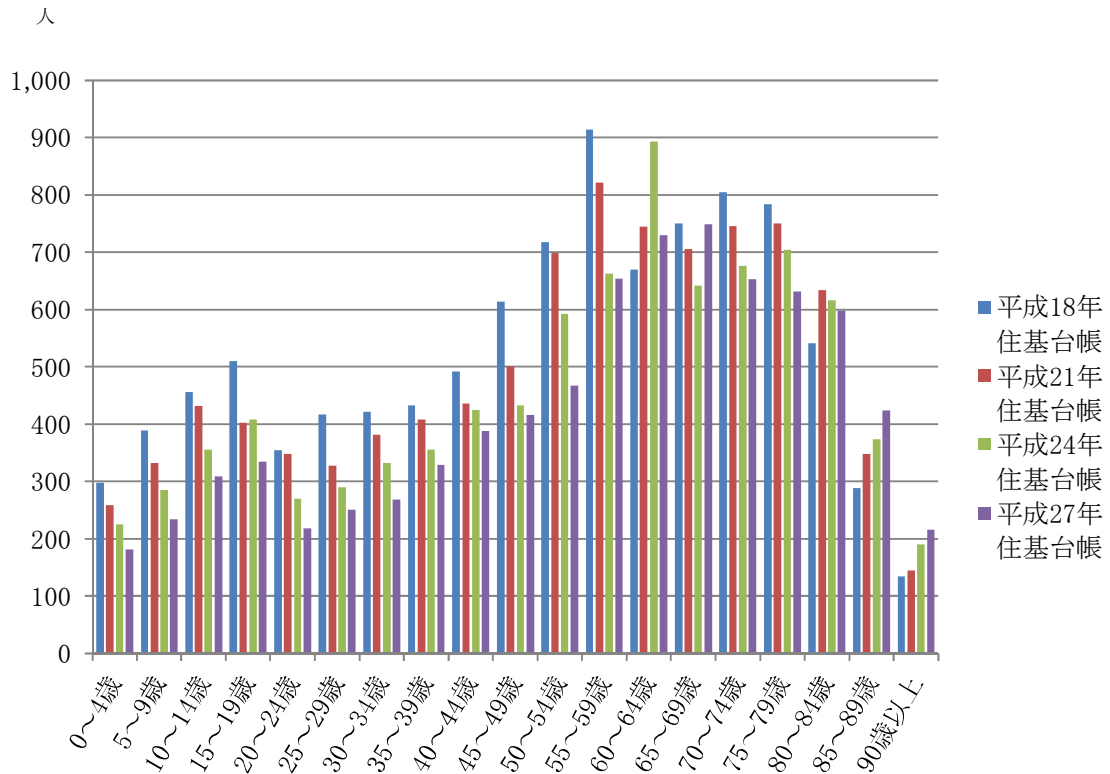
	平成18年 住基台帳	平成21年 住基台帳	平成24年 住基台帳	平成27年 住基台帳
0～4歳	153	152	141	117
5～9歳	208	168	153	157
10～14歳	286	231	193	156
15～19歳	304	261	231	182
20～24歳	292	216	200	176
25～29歳	267	246	216	173
30～34歳	220	231	231	222
35～39歳	213	226	211	227
40～44歳	226	201	223	201
45～49歳	394	279	201	196
50～54歳	458	418	349	258
55～59歳	448	449	437	355
60～64歳	292	354	438	452
65～69歳	335	320	266	349
70～74歳	399	335	322	301
75～79歳	445	383	353	302
80～84歳	285	351	337	296
85～89歳	151	172	230	238
90歳以上	82	100	102	130
合計	5,458	5,093	4,834	4,488



⑥温海地域

(人)

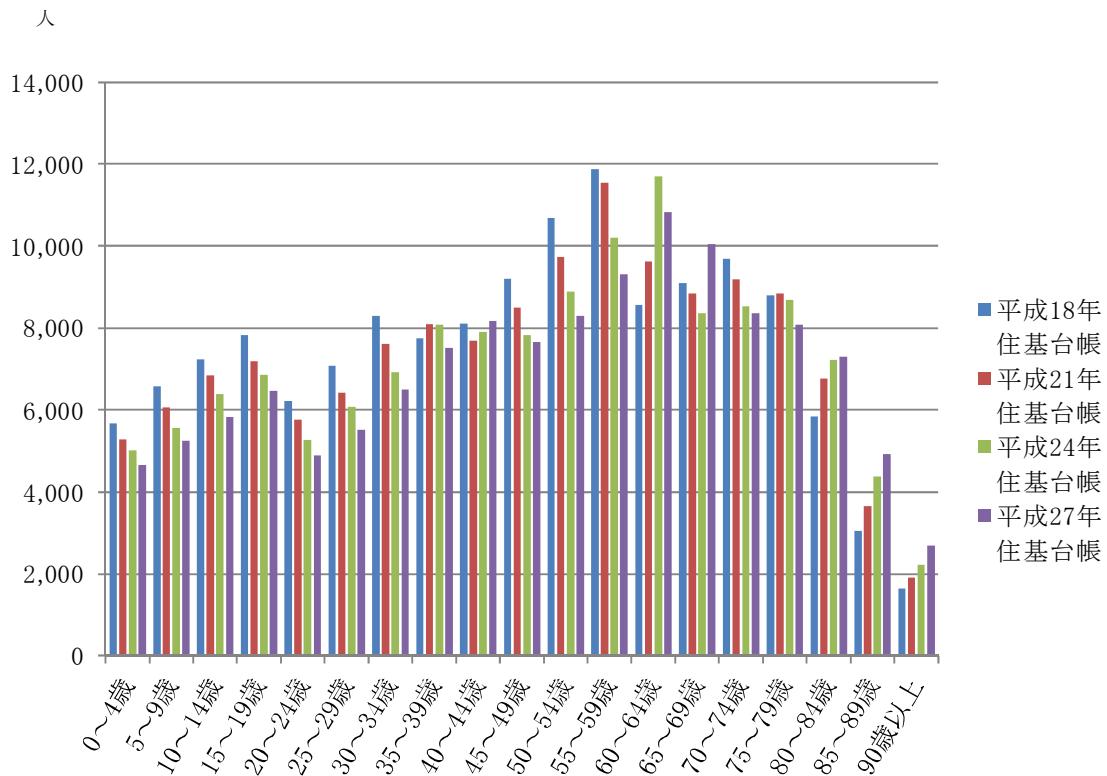
	平成18年 住基台帳	平成21年 住基台帳	平成24年 住基台帳	平成27年 住基台帳
0～4歳	297	258	225	181
5～9歳	389	332	285	234
10～14歳	456	431	355	309
15～19歳	510	402	408	334
20～24歳	354	348	270	218
25～29歳	417	327	290	251
30～34歳	421	381	332	268
35～39歳	433	408	355	329
40～44歳	492	436	425	388
45～49歳	614	501	432	416
50～54歳	718	699	593	467
55～59歳	914	822	663	654
60～64歳	670	745	893	730
65～69歳	750	705	642	749
70～74歳	805	746	676	653
75～79歳	783	750	704	632
80～84歳	541	634	616	598
85～89歳	289	348	373	423
90歳以上	134	145	190	216
合計	9,987	9,418	8,727	8,050



⑦鶴岡市全域

(人)

	平成18年 住基台帳	平成21年 住基台帳	平成24年 住基台帳	平成27年 住基台帳
0～4歳	5,674	5,288	5,016	4,658
5～9歳	6,589	6,060	5,566	5,253
10～14歳	7,245	6,844	6,399	5,821
15～19歳	7,838	7,189	6,864	6,478
20～24歳	6,217	5,765	5,271	4,898
25～29歳	7,089	6,435	6,073	5,515
30～34歳	8,295	7,620	6,928	6,503
35～39歳	7,759	8,102	8,086	7,512
40～44歳	8,117	7,688	7,916	8,174
45～49歳	9,198	8,507	7,826	7,663
50～54歳	10,679	9,732	8,889	8,299
55～59歳	11,878	11,550	10,203	9,315
60～64歳	8,568	9,618	11,700	10,824
65～69歳	9,102	8,849	8,367	10,050
70～74歳	9,688	9,196	8,533	8,359
75～79歳	8,805	8,838	8,689	8,075
80～84歳	5,843	6,770	7,224	7,297
85～89歳	3,057	3,662	4,371	4,921
90歳以上	1,647	1,906	2,225	2,698
合計	143,288	139,619	136,146	132,313

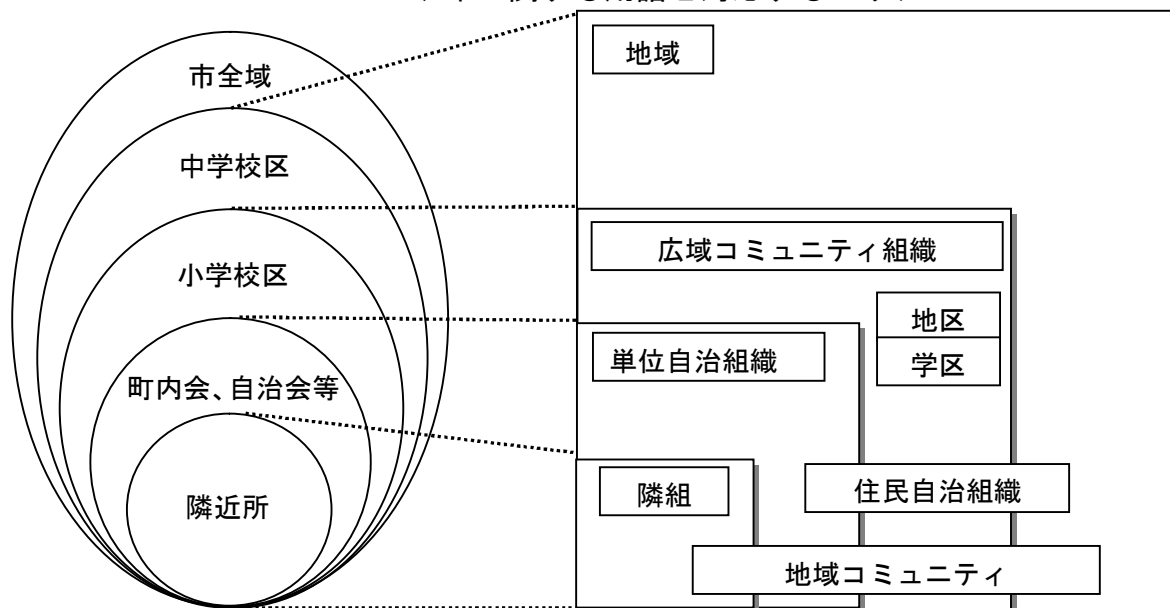


### Ⅲ 用語の解説

地域コミュニティ推進計画の中で使用している用語について、下記のとおり定義します（一般的な言葉の意味とは異なる場合があります）。

用語	解説
地域コミュニティ	一般的には居住地域を同じくし、利害をともにする共同社会のこと。生産・自治・風俗・習慣等で深い結びつきをもつ共同体。ここでは地域社会を運営するうえで相互に連携を図りながら協力しあう個人・家庭、町内会等の自治組織、関係団体等の多様な主体を包含した共同体を指す。
地域	鶴岡地域、藤島地域等の表記の場合は、合併前の旧市町村のエリアを意味し、鶴岡地域以外では中学校区と一致する。また、地域コミュニティ等として用いる場合は、住民相互の交流が行われている地域社会、あるいはそのような住民の集団を指す。文脈によって意味が変化する。
地区	概ね小学校区や地区公民館のエリアを指す。鶴岡地域の市街地では「学区」ともいう。
住民自治組織	個人もしくは世帯が会員となっている住民組織の総称。
単位自治組織	町内会、自治会、住民会等を意味する。主に、広域コミュニティ組織との対比で使われる。
広域コミュニティ組織	概ね小学校区や地区公民館のエリアでの町内会・サークル組織・各種団体等で構成される組織。複数の町内会や自治会等にまたがるエリアのコミュニティ組織を指す。
コミセン	コミュニティ（防災）センター（地域活動センター）の略。地区の活動拠点として住民にとって身近な施設で、現在は、鶴岡地域、藤島地域、羽黒地域及び朝日地域に設置している。

コミュニティに関する用語と対応するエリア



## IV 策定の経過

---

平成 26 年度

- 7 月 3 日 第 1 回鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会
  - ・地域コミュニティ関連施策
- 11 月 26 日 第 2 回鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会
  - ・計画策定の進め方等
  - ・各地域のコミュニティの現状・課題等
- 2 月 24 日 第 3 回鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会
  - ・各地域のコミュニティの現状・課題等
  - ・課題の解決に向けた取組等

平成 27 年度

- 7 月 3 日 第 1 回鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会
  - ・昨年度の取組経過
  - ・今後の進め方
- 8 月 5 日 第 1 回鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会幹事会
  - ・各地域の課題と取組
  - ・市のコミュニティ施策
- 8 月 26 日 第 2 回鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会
  - ・計画の基本的な考え方
  - ・各地域の課題と取組
  - ・市のコミュニティ施策
- 11 月 11 日 第 2 回鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会幹事会
  - ・計画の素案
- 12 月 17 日 第 3 回鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会
  - ・計画の素案
- 1 月 18 日～2 月 5 日  
パブリックコメント（意見募集）
- 2 月 25 日 第 4 回鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会
  - ・計画の最終案
  - ・計画の推進
- 3 月末 計画策定